

**OLYMPUS**

Your Vision, Our Future

# 2017年3月期 第3四半期 連結決算概況と通期見通し

2017年2月2日  
オリンパス株式会社  
取締役副社長執行役員 CFO  
竹内 康雄

## 第3四半期実績

- 連結： 第2四半期決算時公表の年間見通しに沿った進捗
- 医療： 新興国地域が牽引し、安定成長トレンドを継続
- 科学・映像： 第3四半期累計実績で黒字転換

## 通期業績見直し

- 為替見直しを円安方向に見直し、営業利益以下の段階利益が改善
- 当期純利益は過去最高の前年度に次ぐ水準

---

# 2017年3月期 第3四半期 連結業績および事業概況

# 2017年3月期 第3四半期実績 ①連結業績概況

- ① 為替影響を主要因として前年同期比は減収減益も、医療事業が堅調に推移し、為替影響調整後は増収増益
- ② 第3四半期は科学・映像事業も順調に推移して黒字となり、利益に貢献

3Q実績 (10-12月)

(単位：億円)	2016年3月期	2017年3月期	前年同期比	為替影響調整後
売上高	1,968	1,835	▲7%	+3%
売上総利益 (売上総利益率)	1,310 (66.6%)	1,210 (65.9%)	▲8%	+6%
営業利益 (営業利益率)	236 (12.0%)	204 (11.1%)	▲14%	+29%
経常利益 (経常利益率)	212 (10.8%)	156 (8.5%)	▲26%	
当期純利益(※) (当期純利益率)	70 (3.6%)	189 (10.3%)	+169%	

円/USDドル	122円	109円
円/Euro	133円	118円
為替影響：売上高	-	▲201億円
為替影響：営業利益	-	▲100億円

3Q累計実績 (4-12月)

(単位：億円)	2016年3月期	2017年3月期	前年同期比	為替影響調整後
売上高	5,925	5,335	▲10%	+1%
売上総利益 (売上総利益率)	3,938 (66.5%)	3,538 (66.3%)	▲10%	+3%
営業利益 (営業利益率)	737 (12.4%)	547 (10.3%)	▲26%	+8%
経常利益 (経常利益率)	647 (10.9%)	445 (8.3%)	▲31%	
当期純利益(※) (当期純利益率)	429 (7.2%)	411 (7.7%)	▲4%	

円/USDドル	122円	107円
円/Euro	134円	118円
為替影響：売上高	-	▲662億円
為替影響：営業利益	-	▲246億円

# 2017年3月期 第3四半期実績 ②セグメント別概況

■ 第3四半期に入り事業環境が徐々に改善、為替影響調整後では当第3四半期に主要3事業が増収増益

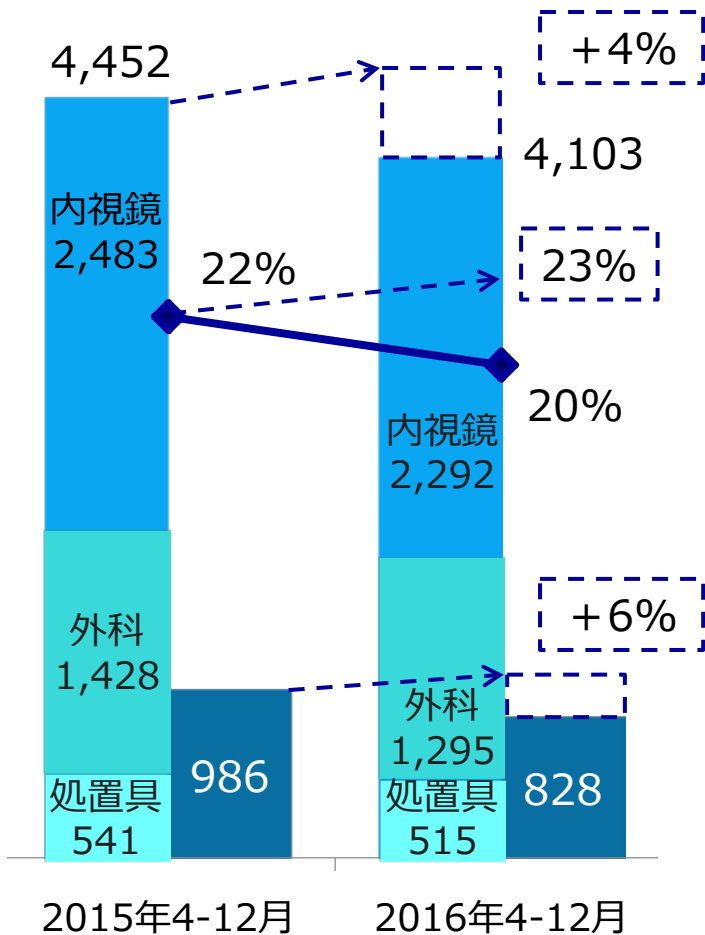
(単位：億円)		3Q実績 (10-12月)				3Q累計実績 (4-12月)			
		2016年3月期	2017年3月期	前年同期比	為替影響調整後	2016年3月期	2017年3月期	前年同期比	為替影響調整後
医療	売上高	1,473	1,385	▲6%	+5%	4,452	4,103	▲8%	+4%
	営業利益	308	262	▲15%	+13%	986	828	▲16%	+6%
科学	売上高	251	231	▲8%	+3%	735	633	▲14%	▲2%
	営業利益	22	19	▲14%	+46%	56	13	▲77%	▲29%
映像	売上高	205	190	▲7%	+1%	620	488	▲21%	▲13%
	営業利益	1	22	+21億円	+24億円	1	7	+6億円	+11億円
その他	売上高	39	30	▲25%	▲22%	118	111	▲6%	▲3%
	営業利益	▲16	▲9	-	-	▲48	▲29	-	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲79	▲90	-	-	▲258	▲271	-	-
連結合計	売上高	1,968	1,835	▲7%	+3%	5,925	5,335	▲10%	+1%
	営業利益	236	204	▲14%	+29%	737	547	▲26%	+8%

# 2017年3月期 第3四半期実績 ③医療事業

■売上高 ■営業利益 ◆営業利益率

為替影響調整後

(億円)



(単位：億円)	3Q (10-12月)				3Q累計 (4-12月)			
	FY2016	FY2017	前年同期比	為替影響調整後	FY2016	FY2017	前年同期比	為替影響調整後
売上高	1,473	1,385	▲6%	+5%	4,452	4,103	▲8%	+4%
内視鏡	812	767	▲6%	+4%	2,483	2,292	▲8%	+4%
外科	476	442	▲7%	+4%	1,428	1,295	▲9%	+3%
処置具	185	176	▲5%	+7%	541	515	▲5%	+8%
営業利益	308	262	▲15%	+13%	986	828	▲16%	+6%
営業利益率	21%	19%		22%	22%	20%		23%

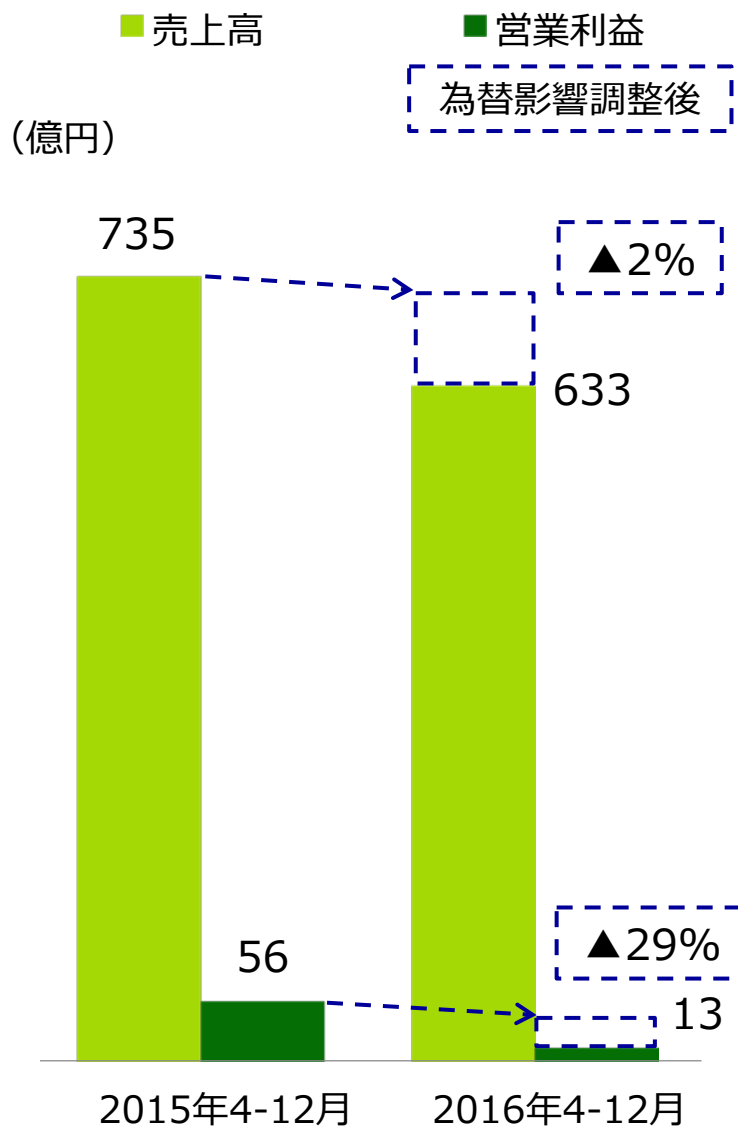
- 為替影響調整後では全分野で増収を達成
- 販管費のコントロール等により、為替の逆風下でも営業利益率約20%を確保

**内視鏡** 新興国が成長のドライバーとなり安定成長を維持

**外科** エネルギーデバイス「サンダービート」の販売が主要地域で2桁成長と好調に推移

**処置具** 販売体制強化およびラインアップ拡充により順調な伸び

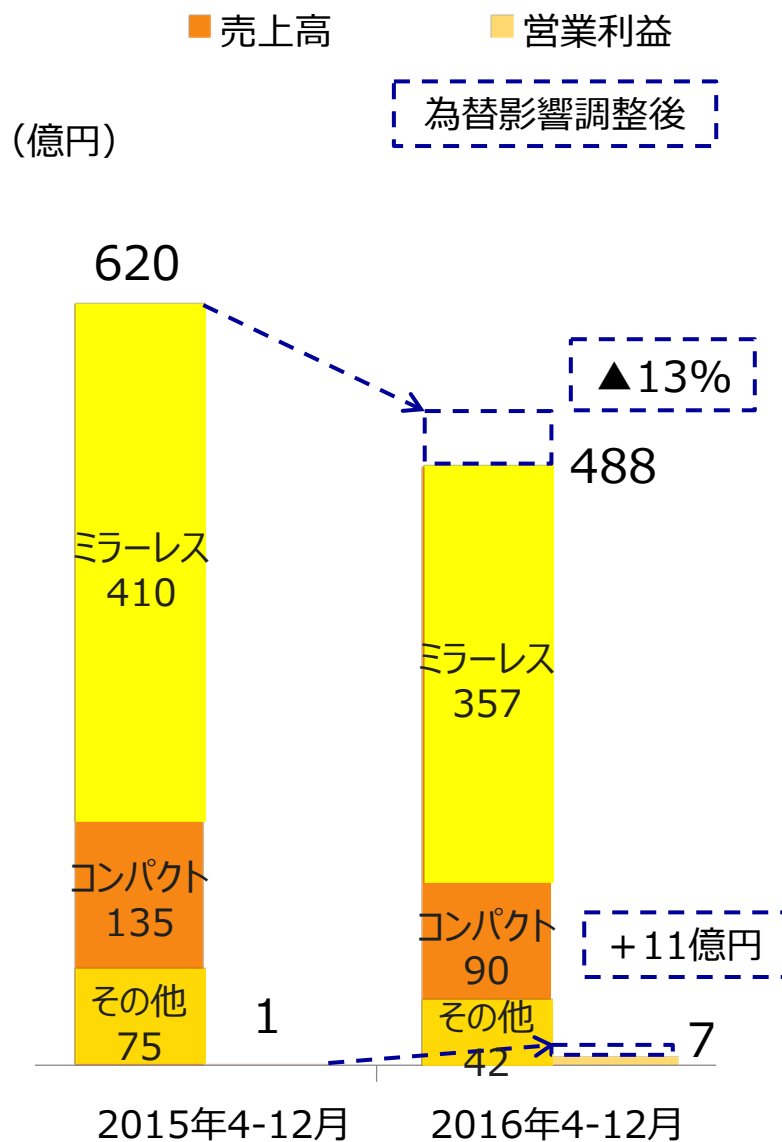
# 2017年3月期 第3四半期実績 ④科学事業



(単位：億円)	3Q (10-12月)				3Q累計 (4-12月)			
	FY2016	FY2017	前年同期比	為替影響調整後	FY2016	FY2017	前年同期比	為替影響調整後
売上高	251	231	▲8%	+3%	735	633	▲14%	▲2%
営業利益	22	19	▲14%	+46%	56	13	▲77%	▲29%
営業利益率	9%	8%		13%	8%	2%		6%

- 研究施設向けや入札案件などで大口受注を獲得するなど、3Q累計で黒字転換を達成
- 3Q期間は資源関連や製造業の一部市場で投資改善が見られ、為替影響調整後では増収増益を達成

# 2017年3月期 第3四半期実績 ⑤映像事業



(単位：億円)	3Q (10-12月)				3Q累計 (4-12月)			
	FY2016	FY2017	前年同期比	為替影響調整後	FY2016	FY2017	前年同期比	為替影響調整後
売上高	205	190	▲7%	+1%	620	488	▲21%	▲13%
ミラーレス	142	152	+7%	+17%	410	357	▲13%	▲4%
コンパクト	39	24	▲38%	▲33%	135	90	▲34%	▲28%
その他	23	14	▲42%	▲37%	75	42	▲44%	▲38%
営業利益	1	22	+21億円	+24億円	1	7	+6億円	+11億円
営業利益率	0%	12%		12%	0%	2%		2%

- ミラーレス一眼の新製品導入効果や普及モデルの販売価格維持等により、収益が大きく改善し3Q累計で黒字転換
- 在庫・費用を適正にコントロール

## 3Q新製品

ミラーレス一眼カメラ「OM-D E-M1 MarkII」  
 ミラーレス一眼カメラ「PEN E-PL8」  
 交換レンズ「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS PRO」など3本



# 連結貸借対照表

- 純資産 : 当期純利益411億円の計上により利益剰余金が増加
- 有利子負債 : 社債の償還等により142億円圧縮し3,070億円
- 自己資本比率 : 利益剰余金の増加および有利子負債を圧縮したことで42.1%

(単位：億円)	2016年 3月末	2016年 12月末	増減額
流動資産 (デジカメ在庫)	5,207 (144)	5,225 (141)	+18 (▲3)
有形固定資産	1,661	1,729	+69
無形固定資産	1,508	1,407	▲101
投資その他資産	1,631	1,619	▲12
資産 合計	10,006	9,980	▲26

	2016年 3月末	2016年 12月末	増減額
流動負債	2,666	2,656	▲10
固定負債 (うち社債・長期借入金)	3,497 (2,645)	3,108 (2,314)	▲389 (▲331)
純資産	3,843	4,216	+373
(自己資本比率)	(38.2%)	(42.1%)	(+3.9pt)
負債 純資産 合計	10,006	9,980	▲26

有利子負債：3,070億円（2016年3月末比▲142億円）

# 連結キャッシュフロー計算書

- 事業の成長に向けた投資を着実に行いつつ、267億円のフリーキャッシュフローを確保

(単位：億円)	2016年3月期3Q	2017年3月期3Q	増減
売上高	5,925	5,335	▲590
営業利益	737	547	▲189
(営業利益率：%)	12.4%	10.3%	▲2.1pt
営業キャッシュフロー	849	691	▲158
投資キャッシュフロー	▲393	▲424	▲31
財務キャッシュフロー	▲460	▲252	+207
キャッシュフロー	▲4	15	+19
フリーキャッシュフロー	456	267	▲189
現金及び現金同等物期末残高	2,088	1,668	▲420
減価償却費	292	333	+41
のれん償却額	75	64	▲11
設備投資額	485	409	▲77

---

# 2017年3月期 通期業績見通し

# 2017年3月期 通期業績見直し

## ■ 為替を円安方向に見直し、営業利益以下の段階利益を上方修正

(単位：億円)	2017年3月期 (2Q時見通し)	2017年3月期 (最新見通し)	2Q時見通し比	為替影響調整後 2Q時見通し比	前期比	為替影響調整後 前期比
売上高	7,430	7,430	-	▲2%	▲8%	+2%
売上総利益 (売上総利益率)	4,960 (66.8%)	4,950 (66.6%)	▲0%	▲2%	▲7%	+4%
営業利益 (営業利益率)	720 (9.7%)	760 (10.2%)	+6%	+1%	▲27%	+1%
経常利益 (経常利益率)	600 (8.1%)	630 (8.5%)	+5%		▲31%	
当期純利益(※) (当期純利益率)	570 (7.7%)	600 (8.1%)	+5%		▲4%	
EPS	167円	175円	+9円			
円/USD	105円	109円	+4円(円安)			
円/Euro	117円	119円	+2円(円安)			
影響額：売上高	-	+140億円				
影響額：営業利益	-	+30億円				

**2017年3月期年間配当**  
 期末配当28円を予定  
 (変更なし)

# 2017年3月期 セグメント別業績見通し

- ① 医療 : 第3四半期までの実績を踏まえ、現地通貨ベースでは売上高および営業利益の見通しを修正。円ベースでは2Q時見通しを維持
- ② 科学・映像 : 第3四半期における事業の回復を受けて、営業利益を上方修正

(単位：億円)

		2017年3月期 (2Q時見通し)	2017年3月期 (最新見通し)	2Q時見通し比	為替影響調整後 2Q時見通し比	前期比	為替影響調整後 前期比
医療	売上高	5,760	5,760	-	▲2%	▲5%	+5%
	営業利益	1,170	1,170	-	▲3%	▲17%	+2%
科学	売上高	890	890	-	▲2%	▲12%	▲3%
	営業利益	10	20	+100%	+48%	▲76%	▲30%
映像	売上高	650	650	-	▲1%	▲17%	▲9%
	営業利益	▲30	0	-	-	-	-
その他	売上高	130	130	-	-	▲18%	▲15%
	営業利益	▲60	▲60	-	-	-	-
全社・消去	売上高	-	-	-	-	-	-
	営業利益	▲370	▲370	-	-	-	-
合計	売上高	7,430	7,430	-	▲2%	▲8%	+2%
	営業利益	720	760	+6%	+1%	▲27%	+1%

# OLYMPUS

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。